



週報

Rotary
OITA JOSAI, 2720



会長：村上智貴
幹事：伊藤秀海

国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ
第2720地区ガバナー
堀川 貴史
大分第4Gガバナー補佐
藤田 千克由



IMAGINE
ROTARY

大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン「ロータリーを日常に」

地区スローガン
ロータリーはつながりで溢れている
～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

2022-2023 第43回例会 5月24日 No.1522

青少年奉仕月間

◆ 本日のプログラム

12:30 点 鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」
ゲスト・ビジターの紹介 村上 智貴 会長
会長の時間 村上 智貴 会長
出席報告及び幹事報告 伊藤 秀海 幹事
ロータリー情報 R情報担当委員
委員会報告 各 委 員 会
スマイルボックス 親 睦 担 当

13:00 クラブ協議会

「次年度委員会ごとの奉仕計画の協議」

◆ 今週のお祝い

- 結婚記念日 寺崎直史会員 5月30日(14年)
- 配偶者誕生日 石橋春明会員 多美江夫人 5月27日
- 会員誕生日 仲道俊寿会員 5月30日

◆ 今後の例会予定

- 5月31日(水) ゲスト卓話 西嶋 しのぶ 様
(FM大分パーソナリティ)
- 6月 7日(水) 青少年奉仕部門出前セミナー
- 6月14日(水) クラブ協議会
「次年度奉仕計画の発表」
- 6月21日(水) 感謝のつどい

◆ ゲスト・ビジターの紹介 (5月17日)

● ゲスト

荒金 真理子 様 (大分県循環社会推進課 参事)

● 職業奉仕スピーチ (5/24)寺崎 (6/7)芳崎

● ———— それでこそローロータリー ———— ●

どこであっても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

● ———— ●

会長の時間 (5月17日) 会長 村上 智貴

新緑の気持ちいい季節です。山開きも行われて
登山愛好家には最高の晴れ間が、暑さに慣れてい
ない方々には堪えると思います。せめて屋外では
マスクを外して熱中症が減るように願うばかりです。
緑色は今季のR I テーマカラーである紫白緑の
一つです。それにちなんで昨年の今頃、会員必携
冊子の表紙に緑色を選ぼうと思ったら色見本が届
いて、緑色が多いのにびっくりしました。今日配
布した色見本のように、浅葱・萌葱・若草・若
竹・鶯・蓬・翡翠など素敵な名前のある中か
ら常盤緑を選びました。コード番号もありますが、
この緑色の表現の多彩さだけでも日本文化の奥深
さをみた感じがしました。

たくさん色がありますが、目には赤緑青と
3つの光を感じる神経だけで、その組み合わせ・
濃淡で多種多様な色が見分けができています。

男性には20人に1人の割合でいる色覚異常は緑
と赤がどちらも茶色に近いように感じていて区別
が難しく、トマトの熟れ具合や焼き肉の焼け具合
が分かりにくいのです。「わからない」ではなく
て「わかりにくい」です。先ほどの緑の色分けと
同様に比べたら差がわかる程度の方がほとんどで、
緑の判別が正常色覚の人よりも鋭敏というプラス
の面もあります。朝ドラの植物学者が言ってまし
たが、雑草という名前の草はない、みんな名前が
あるけど、それを知らない人がそういう表現を使
う。そんな草も一つ一つが鮮やかに見分けられて
いるということです。

緑は環境保全・SDGsに大いに影響を与えて
いると私は思っています。城西RCでは植樹を五
年前にして桜の花も愛でますが、植樹は光合成が
主目的です。光合成で植物が二酸化炭素CO₂を
酸素O₂に変えてくれています。地球温暖化に

出席報告	5月17日					4月26日			
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター	会員総数	出席率	補填数	修正出席率
	33名	22名	66.67%	1名	0名	34名	78.79%	1名	81.82%

編集担当 5月 佐藤 憲幸
6月 岩尾 隆志

CO₂が影響するのであれば、植樹ではまかなえないのか？そのためにはどの程度の植物が必要なのかのデータがあればいいのにと感じてしまいます。

荷揚町小学校も金池小学校も、建物を作り直すときに大きな木を切られています。そこで失った沢山の葉っぱが行っていた光合成を補える量まで植えるとしたらかなりの数が必要ではないでしょうか。

大分には緑が溢れているからそのありがたみは低いかもしれませんが、今日の卓話テーマである環境保全でカーボンニュートラルを目指すことが企業だけでなく行政も必要でしょうし、そこに植樹など緑の保全も加えるようになると自然豊かな世界になるのではないかと考えてます。

委員会報告

幹事 伊藤 秀海

クラブの定款・細則改訂案について、本日までに異議申し立てがありませんでしたので、本日付で承認とさせていただきます。

スマイルボックス

😊廣瀬 舜一 会員（2口）

数日前、5万円の現金とカードその他貴重品を満載した財布を紛失。私が気が付かない間に県警より電話があってびっくりしました。拾った人は名前を告げなかったということで2度びっくり。外国人が日本は落とした財布が出てくる素敵な国という神話が事実であることが証明され嬉しくなりました。スマイルに2口奉仕します。

卓話の時間

「脱炭素社会の実現に向けて」

大分県循環社会推進課 計画・調整班
参事（総括） 荒金 真理子

地球温暖化とは、「人間の活動により、CO₂等「温室効果ガス」が大気中に放出され、地球全体の平均気温が上昇すること」です。産業革命以降、全世界の二酸化炭素排出量は右肩上がりです。上昇しています。

温室効果ガスのCO₂換算の排出量について、

日本全国では、一人あたり年間3.2tのCO₂を排出しています。一方、大分県では一人あたり37.2tの排出になっています。

地球温暖化の影響については、海面上昇や極端な豪雨、強靱な台風の発生、水不足による干ばつなどによる被害など、今後、増加していくと予測されています。

このような極端な気象現象は人間のみならず、野生生物にも影響を与えており、絶滅の恐れのある野生生物の種類は大きく増加しています。

進行している地球温暖化に対し、大分県においては、2020年にカーボンニュートラル宣言を行い、第5期大分県地球温暖化対策実行計画を策定したところです。

カーボンニュートラルに向けては、緩和策と適応策の2本柱で取組を行っています。

緩和策としては、エコ活動に対しポイントがもらえる「エコふあみ」の推進や宅配便の再配達削減実証事業、燃焼してもCO₂を排出しない水素エネルギーのサプライチェーンの構築などを進めています。

適応に対する取組としては「大分県気候変動適応センター」を設置し、そこからの適応策の情報発信や、コメの高温耐性品種の推進などが挙げられます。

県のみならず企業も様々な取組を行い、カーボンニュートラルを目指していますが、それ以上に県民皆様の小さな取組の積み重ねがとても大切です。不要な照明を消す、再配達がないよう時間指定する、といった取組を県民皆様が実施していただくようお願いします。

最後に、当課では、産業廃棄物の処理を業者に委託する際に、その処理が適正に行われたか確認するために、排出事業者が交付するmanifestoを紙でなく、電子で発行する取組を進めています。電子化に際し必要なシステム利用料やPC購入費などの補助も行っているため、検討される方は、計画・調整班（097-506-3135）にお問い合わせください。

